

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	32	事業名	商工会事務局管理体制の見直し			戦略コード	4	戦略名	機動的・能動的な商工会		
担当部名	総務部	担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁	施策コード	16	施策名	変化に対応した組織機構の見直しと県連合会サポート機能強化		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

社会経済情勢の変化により小規模事業者の経営環境が厳しさを増す中で、事業者ニーズに対応し商工会の使命を果たすことが求められている。各商工会、そして職員一人ひとりがその能力を発揮できるよう、県連合会を中心とした組織力の強化が課題となる。

2. 事業のねらい

商工会における管理職の権限や機能を明確化し、きめ細かい日常的な業務の進捗管理、OJTなどの人材育成を行う。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	A	H30		H31		H32		H33
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----	--	-----

副事務局長・事務長の設置によるマネジメント力強化を図る等、先行実施している。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

これまでは、事務局長を中心とした管理体制であったが、階層ごとの役割が明確となり、商工会の組織機能の強化につながっている。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
74	商工会事務局管理体制の見直し	副事務局長及び事務長が新設され組織内の権限・役割が明確化された。	a	a	a	A
75	個別対応から組織全体での対応へのシフト	組織内での役割が明確化されたことで、チーム支援の推進につながっている。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード	取組コード					取組コード	取組コード				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **a**

〈評価の理由〉

商工会が組織として機能し、チームで業務を遂行するためには必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **a**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

事務局長(事務長)、副事務局長、指導員・支援員それぞれの役割等が明確になり、職責を果たすことにより、組織として機能することにつながっている。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **a**

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

組織として機能することで、効率的な業務遂行につながっている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **A**

副事務局長・事務長を新たに設置してから2年が経過しようとしているが、商工会に定着しており、組織機能の強化に寄与している。今後も、管理職向けの研修や、総轄者会議等での課題共有をとおして、機能強化を図っていく。

3. 課題

商工会ごとに管理職によるマネジメントにバラツキが生じている。

4. 今後の対応方針(改善点)

管理体制の徹底を図るため、「管理シート」等のツールにより目標管理を強化する。